



Campus News Rikkyo Niiza

ホームページアドレス <http://niiza.rikkyo.ac.jp>

〈No.61〉



4月8日、春らしい陽気の中で平成25年度の入学式が行われました。今年度は中学1年生205名、高校1年生325名を新入生として迎えました。新入生は、まずはクラス発表掲示を確認し、自分の教室へと向かいます。新たな友人と出会い、緊張感を漂わせながらも、これから始まる新生活に対する期待と希望に溢れているようでした。入学式はチャペルにて厳かな雰囲気の中、執り行われました。いよいよ新たなスタートです。よい学校生活にしていきましょう。

特集 立教新座のクラブ活動

立教新座には中学に体育部15、文化部10、高校に体育部22、文化部17ものクラブがあります。広大な敷地に施設、指導環境に恵まれ、多くのクラブがそれぞれに素晴らしい成績を修めたり、研究成果

をあげています。

新中学1年生は入学式の翌日から4日間行われたガイダンスの中で、新高校1年生は16、17日の2日間にクラブ紹介がありました。クラブ紹介を受けて、すで

に入部するクラブを決めている新入生も多いと思いますが、今回は数あるクラブの中から、立教新座だからできるクラブや、キリスト教の学校ならではのクラブなどを次ページよりいくつか紹介します。

クラブ一覧

中学クラブ

【体育部】 剣道部・サイクル部・サッカー部・柔道部・水泳部・ソフトテニス部・体操部・卓球部・テニス部・バスケットボール部・バレーボール部・フェンシング部・野球部・ラグビー部・陸上競技部

【文化部】 映画研究会・英語部・写真部・吹奏楽部・チャペルギルト・地歴部・鉄道研究会・美術部・文芸部・理科部

高校クラブ

【体育部】 アメリカンフットボール部・空手道部・剣道部・ゴルフ部・サイクル部・サッカー部・山岳部・柔道部・水泳部・スキー部・ソフトテニス部・体操部・卓球部・テニス部・馬術部・バスケットボール部・バレーボール部・フェンシング部・ボート部・野球部・ラグビー部・陸上競技部

【文化部】 アコライトギルト・映画研究会・英語部・演劇部・音楽部・化学部・観測部・クワイヤー／オルガニストギルド・写真部・ジャズ研究会・吹奏楽部・生物部・地歴部・鉄道研究会・美術部・文芸部・落語研究会

クラブ活動紹介

観測部

顧問より 古田 豊

観測部では自然の探究活動、物理学、理工学系の実験と研究を続けています。2012年度の部員は7名。

自然の探究活動は、月1、2回放課後から夜10時頃まで、屋上で屈折望遠鏡や反射望遠鏡を使って天体観望を行っています。実験と研究は、『高度による落下物体への影響について～富士山と学校での対照実験』、『寒天の弾性の測定』、『手作りスピーカーの特性』、『筒と音』など。校外の研究発表にも参加します。写真は金環日食観測です。

部員より 高校3年1組 坂本 諒

初めは物理関係の研究がしたいと考え、観測部に入りましたが、天体観測のための機材が豊富だったこともあり、今では積極的に観望会を開いています。このように観測部では一つのジャンルに縛られることなく、部員それぞれが興味を持った分野に打ち込むことができます。



〈観測部〉

本館校舎屋上にて

クワイヤー（聖歌隊）

顧問より 中村 勝

入学式の時に、赤いキャソックと白いサージブリスを着て歌っていたのがクワイヤーです。小中高大の連携のもと、部員も中高あわせて20名を超え、小口浩司先生の指導のもと着実に実力をつけてきています。礼拝での奉唱だけでなく校外でのコンサートも企画しています。

部員より 高校2年8組 武政 雄大

僕は歌うことが好きで、まずクワイヤーに興味を持ちました。そして見学に行ったとき先輩たちが、明るく、温かく接してくれたことも、僕を強く惹きました。最近は部員も増え、部の雰囲気だけでなく合唱の実力もよくなってきて、ますます楽しいです！

生物部

顧問より 新田 光昭

生き物といっても、生徒の回りにはペットや公園があるくらいで、野生生物とはほとんど出会わないし、目を向ける機会もないのが実情です。

生物部の水槽には多種類の魚が泳いでいます。その動きを見ながら生物研究の糸口をつかんでほしいと思います。

S.P.F.の展示では、初めての発表とはいえ、部員一人一人が責任を果たし、お客さんにも好評でした。また、部誌も完成し、来年に向けて、みんなで目標に向かって努力することが大切だと改めて認識しました。

部員より 高校2年8組 大山 拓朗

私が入部した理由は、当然生物が好きだからです。生物部の魅力は生物に直に接することができるということ、自分のペースで活動ができるということです。生物と楽しい仲間が好きなのはぜひ一度来てみて下さい。

山岳部

顧問より 石和田 京子

現在高校3年生2名、2年生5名が在籍しており、顧問と副顧問の総勢9名で登山を行っています。地上ではトレーニングや、装備・食糧等の勉強会により、登山に必要な体力および知識を磨き、その後原則テント泊で行う合宿を通じて、登山の基礎を実践的に学んでいきます。登山によって得られる感動の中で、部員が互いに理解と友情を深めることを第一の目標におき、毎回新しい山に意欲的にチャレンジしています。

部員より 高校3年6組 興村史悠

山岳部に入って一番印象に残ったのは、夏合宿。2日間かけて上り詰めた槍ヶ岳のテント場に到着したときに見た夕日に、尋常ではない感動を覚えた。登山は、根気強く一歩ずつゆっくりでも歩けば、必ず結果がついてくるのが魅力だ。この部活で体力はもちろん、それ以上に何事にも粘り強く向き合う根性が身についたと感じる。

活動実績

2012年 5月20日(日) 新人歓迎山行 [箱根] 明神ヶ岳・明星ヶ岳
 2012年 6月23日(土)～24日(日) 前期部山行 [奥武蔵] 有間山
 2012年 7月23日(月)～27日(金) 夏合宿 [北アルプス] 槍ヶ岳
 2012年 10月6日(土)～7日(日) 秋山山行 [北上山地] 早池峰山
 2012年 11月1日(木) 秋山山行 [足尾山塊] 皇海山
 2013年 2月10日(日) 冬山山行 [奥多摩] 御岳山



〈生物部〉

2012年S.P.F.展示のようす



〈山岳部〉

早池峰山頂にて (2012年10月7日)

スキー部

顧問より 綾部 俊二

アルペン競技スキーとは、決められたコースの中をいかに速く滑ることができるかを競うスポーツです。しかし、他の陸上スポーツと異なり、雪上で練習できる期間は長くありません。従って、選手たちはゴールまでの約1分間でより良いパフォーマンスを出すために、オフシーズンには地道な練習に日々取り組み、心身を鍛錬し、シーズン中は雪上でのスキー技術の向上を図り、それら全ての集大成を大会で発揮するように準備します。

そして、その努力を続けた者が、上位大会への切符を手にすることができます。

活動実績

平成24年度埼玉県学校総合体育大会兼全国中学スキー大会（中学校）全中出場。

平成24年度学校総合体育大会兼全国高等学校総合体育大会県予選会（高校）関東大会出場・インターハイ出場。
〈インターハイ出場の感想を6ページのキャンパストピックスで取り上げています。〉



〈スキー部〉

体操部

顧問より 林 正和

部員の多くは初心者なので日々基礎体力トレーニングに頑張っています。毎日の練習は厳しいですが、自分の体がうまく操れるようになると技が完成し、達成感や満足感が味わえます。これが、「体操」の真髄です。

環境・活動実績

体操部の練習するセントポールズ・ジム体操場が2010年に新設され、冷暖房完備・体操器具はもちろんのことタンピングトランポリンや着地の衝撃をやわらげる施設「ピット」など新しい施設も付加され素晴らしい練習環境になりました。

昨年度の戦績、岩穴口智彬君が1年生にして関東大会に出場し、西部支部大会団体2位・同大会個人総合優勝（岩穴口）・埼玉県新人大会団体7位という戦績でした。

今年度も各大会で上位入賞できるよう頑張りたいと思います。

部員より 高校2年7組 斉藤 瑠以
体操場は、恵まれた環境で練習がやり易く、初心者でもすぐにうまくなります。

練習は厳しいですが、和やかで毎日楽しく練習しています。また、部員同士で技について教え合うなど、向上心豊かな部活です。



〈体操部〉

体操部部員 セントポールズ・ジムにて

フェンシング部

顧問より 中村 聡

北京五輪やロンドン五輪でのメダル獲得で注目を浴びたフェンシング競技は、中世ヨーロッパの騎士達が剣術の技を磨いたことを発祥とするスポーツで、フルーレ、エペ、サーブルと3種目から成ります。本校フェンシング部は1951年創部と長い歴史を持ち、主にフルーレを練習しますが、自分に合った種目を中心に練習することも出来ます。

環境・活動実績

総合体育館完成後は専用練習スペースと充実した試合用器具を使用することが出来ます。

これまでの実績としては、インターハイ団体準優勝、個人優勝、関東大会団体優勝、個人優勝、国体優勝、世界ジュニアアカデ大会出場、アジアジュニアアカデ大会団体銅メダルです。

部員より 高校3年3組 末廣 和希

競技を始めて2年になりますが、フェンシングを通して礼儀を学ぶことができました。試合の最初と最後に相手に敬意を持って挨拶をすることがルールに定められていて、この礼儀を重んじる精神は素晴らしいと思います。フェンシングを更に多くの人に知ってもらい、興味を持ってもらいたいです。



〈フェンシング部〉

2012年 世界ジュニアアカデ大会より

ボート部

顧問より 野村 博英

ボート部は創部60年を過ぎ、OBの数も350人を超える歴史のあるクラブです。戦績も全国大会準優勝2回、インターハイ出場12回を数えています。

ボートは日本ではマイナーなスポーツですが、欧米では大変人気があり、オリンピック種目から消えることはないと言われています。ボートの大会は特別にレガッタと呼ばれ、各国で常に開催されています。大変過酷なスポーツで、スターは生まれませんが、その分クルーの絆は大変強く、一生の仲間と出会えます。

練習場所・活動実績

戸田ボートコースで練習。
2001年インターハイ準優勝
2006年東日本レガッタ優勝

部員より 高校3年5組 竹本 康佑
高校から始められるスポーツを探していたところ、ボート部と出会うことができました。

戸田ボートコースへ行って練習し、他校の生徒とも仲間になれるし、試合でゴールした時の清々しさはボートと出会えた者だけが味わえる特権です。



〈ボート部〉

定年退職をされた先生方

2012年12月に宮本憲先生が、2013年3月に新藤文男先生と上 寛之先生が定年を迎えられました。

定年退職を迎えた先生より

感謝

1970年4月本学に奉職。以来43年間体育科の教師として勤務。本年3月、無事(?)定年退職致しました。図体ばかり大きく、専門のサッカーの他に何の取柄もない私が職務を全うできたのは、偏に勤務員皆様方のご支援のおかげと心より感謝致しております。

生徒には『人に迷惑をかけない』『時間を守る』『挨拶をしっかり』を常に念頭に接してきました。信念を曲げず妥協せず、全身全霊で向かい合った積りです。サッカー部の活動では、弱くても一生懸命頑張る事の大切さを伝えられたと思っています。振り返れば辛かったこと、苦しかった事ばかりが美化され、楽しく心に浮かんでいきます。

退職にあたり、支えて下さいました皆様方に再度心からの感謝を申し上げ、立教新座の益々のご繁栄をお祈り致します。

新藤 文男 (体育科)



新藤先生最後の授業

右から4番目、花束を持っているのが新藤先生です。

「光陰矢のごとし」と言いますが、立教にきてから定年まで非常に早く過ぎていったように感じます。それも、非常に充実した日々を送ることが出来たおかげと思っています。サポートして下さいました教職員の皆さん、そして何より生徒諸君の青春に満ちあふれた学校生活が私にも多くの力を与えてくれたと感謝しています。授業、クラス、校務分掌、そして文化祭や体育祭、修学旅行と様々な行事が思い出されます。特に、ここ数年、授業で日本国憲法を担当してきましたが、その精神が現実の社会でいかに実現されていないかも実感してきました。また最近では、改憲の動きも出てきて、現実味も帯びています。憲法の定める人権や平和が「空気」のような当然の存在になっていますが、「自由獲得の努力の成果」であることを今後も肝に銘じていきたいと思っています。生徒・教職員の皆様感謝するとともに、今後のご活躍をお祈りします。

上 寛之 (社会科)



最後の授業で生徒に囲まれる上先生

教科の先生より

「体育科 新藤 文男先生の思い出」

自称、高倉健こと新藤文男先生、43年の長きに渡り立教高校(2000年より立教新座中学校・高等学校)体育科教師として御尽力頂きました。

曲がったことが大嫌いな正統派。恐らくお父様(警察官)の性格からくる教育そのまま、仕事は細かく丁寧で、採点・評価は何回も見直す慎重さ。保健テスト問題最終チェックは新藤先生の仕事で体育科最後の砦でした。当り前のことですが、簡単ではない作業です。

先生の人間性から我々体育科のみならず、多くの先生方から慕われ頼りにされる教師の鏡的存在でした。

若かりし頃のサッカー実績を知る人が少なくなっている、ちょっと紹介します。高校時代は浦和西高校キャプテンで岐阜国体優勝。大学時代は2部リーグでしたが、日体大のキャプテンとして大所帯をまとめました。1970年からの立教高校では、埼玉教員チームの選手として3回の全国優勝。現役引退後は教員チーム監督として国体で3回の優勝と、選手・監督で合計7回の全国制覇はサッカー界では稀なことです。

趣味は読書。文男という名前の由来がご両親の思いがあるような気がしてなりません。楽しいお酒の席を愛し、カラオケ大好きな新藤先生、長い間本当に御苦労様でした。

退職後は健康に注意されまして、散歩がてら足を運び、新しくなった校舎・体育館での立教新座中学校・高等学校の教育活動を見守って頂けたら幸いです。

体育科 大野 道夫

「社会科 宮本 憲先生、上 寛之先生の思い出」

昨年度で社会科の宮本憲先生、上寛之先生がご退職となった。両先生は立教大学大学院経済学研究科の三宅義夫先生のゼミの同級生で、先に就職された宮本先生の紹介で、当時、他校にお勤めであった上先生が、立教の教壇に立つこととなったそうである。

宮本先生は、経済学の金融論がご専門で、本校の研究紀要にも論文を多数発表されている。教員として、教材研究はもちろん、専門領域の研究の重要性を示して頂いた。また、教職員会議の議長・学年主任・教務部長・教頭として、学内の様々な問題、特に高大間の推薦制度の改革に努力され、常に正論を述べ、進むべき道を示して頂いた。昭和から平成にかけて、教員・生徒有志で憲法や天皇制を学ぶ機会があった。その中で「われわれを取り囲む社会は変化するが、権力から自分の身を守る拠り所は憲法しかない」という趣旨を述べられていた。権力に対して、批判的な見方の重要性を述べられていた宮本先生ならではのご発言であろう。

上先生は、担任として、突然失明した生徒の指導に力を発揮されたばかりか、われわれにも障害者と人権について学ぶ機会を与えて頂いた。ご専門は金融論であるが、憲法・人権問題について、高い関心をお持ちで、中学3年公民の授業で、日本国憲法を前文から最後の条文まで学習する特徴的なカリキュラムは、上先生のご努力の賜物である。先日、中学校の卒業礼拝で述べられたが、「時は平等、人も平等、しかし社会は不平等」という言葉は、人権問題について日々研鑽され、社会の在り方を常に批判的にみてこられた上先生ならではのお言葉であろう。

教科での両先生との何気ないやりとりから、教員としての在り方や社会の見方などを学ばせて頂いた。長きにわたるご指導、ご教示、本当にありがとうございました。

社会科 平山 晋

生徒より

「上寛之先生へ」

「お疲れ様です！」

上先生、長い間本当にお疲れ様でした。俺らは授業中うるさいし、先生の話も聞かないしプリントも提出しない酷い生徒でした。本当に、すみませんでした。でも先生は先生でマーカー無駄に多いし、話はまとまりなくて長いけど、授業はとても楽しかったです。

先生のおかげで社会が好きになった人、先生のおかげで社会の点数があがった人、先生のおかげで人生が変わった人もいます。

上先生の最後の授業を受けたことは三年間の中学校生活でとても印象に残った出来事です。先生、ありがとうございます。

これからも時々学校に顔出しに来てください。

高校1年3組 眞壁 忠嗣

「新藤文男先生へ」

新藤先生は、静かな厳しさを持った方でした。普段はあまり多くを語らないのですが、そんな先生に褒めていただいた時は、それは嬉しかったのを覚えています。

また先生はとても楽しい方で、ハードな練習で皆がぐたくたになっていると、ふと何気ないギャグを口にして重い空気を和ませて下さいました。

そして何より、先生はいつも私達の活動を支えて下さいました。合宿中にドリンクやバナナの差し入れをして下さったり、いつもグラウンドに出てきて私達を見守って下さいました。本当に沢山のことをしていただき、いくら感謝しても足りないのですが、精一杯の気持ちも込めて言わせて下さい。

本当にありがとうございました。そして、長い間お疲れ様でした。

中学3年A組 サッカー部 齋藤 航

2012年度卒業生 進路

2013年3月に卒業した316名のうち、推薦を得て立教大学に進学した者は245名、他大学を目指した者は71名でした。このうち2013年度大学入試センター試験に出願した者は56名、指定校推薦の制度により進学先が決定した者は11名です。

近年、国公立大学でも推薦制度を導入する学校が増加しています。進路指導資料室には国公立大学、私立大学を問わず、多数の大学から最新の情報が寄せられています。自分が興味を持った大学の下調べの第一歩として、進路指導資料室を有効にご活用下さい。

進路担当 社会科 石和田京子

2012年度大学合格者数

2013年 4月12日現在

	大 学 名	人 数	
		総数	うち現役
国・公立	茨城大学	1	1
	京都大学	1	1
	島根大学	1	0
	千葉大学	1	0
	電気通信大学	1	1
	東京大学	2	2
	東京学芸大学	1	1
	東京工業大学	6	4
	東京農工大学	1	1
	北海道大学	2	1
合 計		17	12

2013年 4月12日現在

大 学 名	人 数	
	総数	うち現役
青山学院大学	3	1
麻布大学	1	0
神奈川大学	1	1
北里大学	4	2
杏林大学	1	0
慶應義塾大学	20	18
國學院大学	1	0
国際基督教大学	1	1
埼玉医科大学	1	1
芝浦工業大学	2	2
城西大学	1	1
上智大学	11	8
昭和大学	2	1
成蹊大学	1	1
成城大学	2	0
聖マリアンナ医科大学	2	0
中央大学	8	5
帝京大学	1	1
東京歯科大学	1	1
東京薬科大学	1	1
東京理科大学	20	16
同志社大学	1	0
日本大学	3	0
日本歯科大学	1	1
日本獣医生命科学大学	2	2
文教大学	1	1
法政大学	1	0
星薬科大学	1	1
明治大学	14	10
明治薬科大学	2	2
酪農学園大学	1	0
早稲田大学	27	24
立教大学	254	253
合 計	393	355

2012年度立教大学推薦者数

学 部	学 科	推薦数
文 学 部	キリスト教学科	0
	史学科	3
	教育学科	4
	文学科・英米文学	5
	文学科・フランス文学	0
	文学科・ドイツ文学	0
	文学科・日本文学	2
経 済 学 部	文学科・文芸・思想	4
	計	18
	経済学科	26
	会計ファイナンス学科	14
理 学 部	経済政策学科	14
	計	54
	数学科	7
	物理学科	4
	化学科	6
社 会 学 部	生命理学科	2
	計	19
	社会学科	13
	現代文化学科	13
法 学 部	メディア社会学科	13
	計	39
	法学科	32
	国際ビジネス法学科	8
観 光 学 部	政治学科	10
	計	50
	観光学科	5
コ ミ ュ ニ テ ィ 福 祉 学 部	交流文化学科	5
	計	10
	福祉学科	0
	コミュニティ政策学科	3
経 営 学 部	スポーツウエルネス学科	4
	計	7
	経営学科	20
現 代 心 理 学 部	国際経営学科	13
	計	33
	心理学科	3
異 文 化 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 学 部	映像身体学科	3
	計	6
合 計	異文化コミュニケーション学科	9
	計	9
合 計	計	245

2014年度入試日程

〈中学校〉 ○一般入試

	一般 第1回	帰国児童	一般 第2回
募集定員	約100名	若干名	約40名
出 郵送	1月4日(土)～18日(土) 消印有効		
願 窓口	なし		
入学試験	1月25日(土)	2月3日(月)※HP合格発表	
合格発表	1月26日(日)郵送・掲示・HP	2月4日(火) 掲示・HP	
入学手続	1月28日(火)～2月2日(日)		2月4日(火)

〈高等学校〉 ○一般入試

募集定員	約60名
出 願	1月17日(金)～25日(土) 消印有効 (郵送のみ)
入学試験	2月1日(土)
合格発表	2月2日(日) 郵送・掲示・HP
入学手続	2月7日(金)

○推薦入試

募集定員	約20名
出 願	1月4日(土)～7日(火) 必着 (郵送のみ)
一次発表	1月15日(水) 郵送・HP
入学試験	1月22日(水) 面接
二次発表	1月23日(木) 郵送・HP
入学手続	1月28日(火)

※中学第2回入試HP合格発表は、2月3日(月)22時を予定

チャペルだより

今この時

入学おめでとうございます。皆さんは小学校、中学校の課程を終え、立教新座中学校・高校の生徒となりました。この時を迎えてどういう心境でしょうか。多分、一人一人、様々な思いを胸に抱いて、今このキャンパスにいることでしょうか。この学校を切に望んで入学した人、あまり考えることなく当たり前のように入学者、また、やむを得ず入学をした人など…。いずれにせよ、皆さんは今や立教新座中高の生徒なのですから、早くこの学校に慣れ、この学校の生徒で良かったと3年後に誇りが持てるよう、日々歩んで欲しいと思います。

キリスト教では、時をこう考えます。「時とは神が定めたものであり、神の

みが支配できる」と。一般的に言うところの運命に置き換えてもいいでしょう。人生において、節目となるような重要な時は何度かやって来ますが、皆さんの立教新座中高への入学の時とは、まさにそういう時の一つでしょう。この時を自分でどう受けとめることができるか、ここにその人の成長の第一の鍵があると思います。理想はもちろん、今のこの時を恵みと感じ、感謝することですが、全員がすぐにそういう気持ちを持てるとは思えません。特に、この学校に未だ消極的にいる人には、恵みや感謝の思いはまだ芽生えないでしょう。どうして自分は立教新座なのだろう、としばらくは心の中で葛藤があり、神（運命）に疑問を持つかもしれません。よくわかります。でも、今この時が自分に与えられた現実の時なのです。一見、理不尽や無意味に思える時でも、何かしらの意味を有するものです。今のこの時に対して恵みと感じ

ている人も、まだそうではない人も、今自分がここに居ることの意味について考え、明らかにしようと努めることが皆さんのこれからの心の作業です。そして、時間をかけて過去を振り返るような形で、この時の自分に対する意義を見だし、納得することができたならば、立教新座中高で本当に良かったと心から思えるでしょう。こうして感謝の気持ちが自然と湧いてくるのです。感謝の気持ちはさらなる恵みを生みます。

神は決して無慈悲な方ではありません。それぞれに一番相応しいと思える時を与えてくださったはずで、それが今この時なのです。

また同時に、その意味を明らかにする力をも与えてくださっているはずで、焦らずゆっくりとこの時の意味を考えましょう。

チャプレン 西海 雅彦

行事予定～中学校～

5/9(木)	創立記念礼拝、生徒総会
10(金)	授業公開(～11)
13(月)	3年校外研修旅行(～17)
15(水)	2年校外学習(理社) 1年オリエンテーションキャンプ(～17)
17(金)	2年校外学習(理社)
18(土)	1・3年自宅学習
26(日)	朝霞地区大会(～28)
6/5(水)	中間試験(～6)
10(月)	1年理科校外学習
7/3(水)	期末試験(～5)
6(土)	1年美術特別授業
8(月)	スポーツ大会
16(火)	音楽鑑賞会
20(土)	1学期終業礼拝、保護者学級会

行事予定～高校～

5/9(木)	創立記念礼拝、生徒総会
10(金)	授業公開(～11)
13(月)	2年校外研修旅行(～17)
18(土)	2年自宅学習
6/5(水)	中間試験(～6)
15(土)	2年学部学科説明会(池袋)
22(土)	2年学部学科説明会(新座)
7/3(水)	期末試験(～8)
9(火)	体育祭、1・2年人権学習(～12)
20(土)	1学期終業式

キャンパストピックス

インターハイに出場して(スキー部)

今冬、2月5日～10日に行われた「第62回全国高等学校スキー大会(インターハイ)」に僕を含め2名のスキー部員が出場した。自分にとって全国大会というのは初めての経験だったので少し緊張していた面もあったが、その雰囲気には圧倒されないようにぶつかっていきと決めていた。

僕が出場するアルペン男子回転競技は9日に行われた。前日まで猛吹雪で大会当日も競技ができるかどうか心配されたが、無事開催した。競技は2本合計タイムで競うのだが、僕は1本目終了時点で111位と満足いく結果は出ず、2本目は途中棄権で失格という悔しい結果になってしまった。

このインターハイでは「自分がいかに弱いか」と「全国レベルの高さ」を知ることができた。特に北海道、東北などの選手の強さは印象的であり、技術的・体力的な面に加えて、意識の高さでも自分達と差があると痛感した。この大会で学んだことを経験値にし、来年はもっと実力をつけて全国で戦える選手になってインターハイに出場したいと思う。

高校3年7組 木下 真貴

タイムカプセル



資料

- ・体育館新築工事設計図
- ・寄付者一覧
- ・新座だよりNo. 22、23
- ・写真(内観・外観)6枚
- ・体育館落成感謝礼拝式文
- ・昭和48年度父母の会会員名簿
- ・竣工式写真2枚など

2月、建て替えのため、総合体育館の取り壊し工事が本格的にはじまりました。その際、入口付近の壁に埋められていた定礎を外すと、中から銅でできた箱が出てきたのです。

開けてみると、なんと総合体育館竣工時(1974年)に入れたと思われる以下の資料が入っていました。出来上がったばかりの体育館に期待する当時の思いが込められたタイムカプセルでした。

Campus News Rikkyo Niiza 第61号

編集：立教新座中学校・高等学校 教務・入試広報課
発行：立教新座中学校・高等学校

〒352-8523 埼玉県新座市北野1-2-25 ☎048-471-2323(代表)